

# 丁未の朔日

## 給料支拂の通知を手にした切 寄々對戦の密議

### 腕み合ひの藤永田造船

藤永田造船では十四日出勤者は、おぼろげなもので本工場分働を合して約二百名を算するに過ぎず。朝来の雨は一層工場内の物産しさを増した。給し賃額は依然業勢の緊縮を持し、数日連続するは四、五百名の出勤を見るは、なかであるさいつてある。賃金は十四日職工一同に對し減額を減して十六日午前十一時より午後三時までの間に給料を支拂するから、十五日午前八時までに通帳を引出された。この市送り本人以外の代人には、總對に差支はない旨聲明した。一方職工側は十四日大和川下流の運動會も雨天の爲め中止し、市内居住者は三時迄の朝日俱樂部、飛騨居上者には吉岡山荘等に集合し出勤難に陥り、給金を手配してある。給料支拂通知書を受取った職工は各個人別々に出勤する事は、或は會社側

の切頭に乗せられるかも知れないと言ふので、よし給料の受取に全部を委任して受取つて貰ふことに協定した。其の間生活費に差支へる者は、親の共益社より薪木等を一時借り受ける豫定になつてゐる。同業工團本部では、明十五日朝刊に、押らす午前五時三十分より東木津川瀬河終點にて報告會を開き、従來の報連報告に最後の五分間の結束を刷新する事とし、其の旨十四日午後三時大正橋木津川終點、吉告等報告所に届した。

## 取締に關する 意見交換 藤沼部長と 友愛會代表者

藤沼部長は今回の藤永田造船

## 平穩に全部出勤

### 住友電線職員の要求 伸銅製鋼は形勢觀望

大崎市西區葛倉町株式會社住友伸銅製造所、本会二千五百圓職工千一百名が十三日午名の委員を選んで、國體女砂禮堂、外五箇條の嘆願書を會社に提出した事は、朝刊一部報の如くであるが、職工側は、早く交渉を成すべく、本會に目的を貫徹するこの申合せに、基き十四日は平常通り全部出勤に来た。一面會社側では、事難易ならずして北浜なる住友本店に中田理事、山下取締役、三所社長等會前夜に引續き回答案に就き議中である。而して右要求提出迄の経緯は、最初住友電線の三工場から住友電線の外に住友伸銅、住友鋼の三工場

野黨に關しその原簿に就いて、及びひ加々美特約部長も列席して部長會社に職工代表者も意見を希望されたので、十四日正午友愛會の木村理事、山下職員及び藤永田造船職工を陳述する所があった。委員一行八名は附隨、同部長を訪

## 要求の回答は 本日午後四時

右欄し住友會社の山下理事は十四日午後三時、本館に出頭。藤沼部長と十分戻つて意見を陳述する所があった。同職工側の要求に對しては、本日午後四時回答を與へる筈だといふ。

## 日谷鐵工所 大崎市北區 上層中五丁目日谷鐵工所職工百五十名は、依りて休業を繼續して居るが、職工側の態度は漸次軟化し、十三日夜に至り數名の代表委員は會社を訪問、案に提出した要求の内主要なるもの、朝刊交渉問題、年二回定期昇給承認の二案は撤回し、時間間断、職工手當は別に主張せず、職工手當、職工手當は何れも其初要求の半減で可なりと折れ、尚ほらに出動させ、申込んだが、會社側は要求全部を撤回せずと堅持し、十四日午後何分の回答をする。

に依つては或は提出を見るかも知れない状態に在る。より一々詳細に關する意見を述べ、友愛會並に職工側よりも夫々希望を陳述する所があった。